

外来生物がやってきた

第3版



はじめに

私たちの身の回りには、数多くの外来生物が生きています。それらは身近な親しみのある草花であったり、大繁殖する厄介者として知られていたり、人と外来生物との関係は様々です。たとえば、空き地では、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギなどが繁茂し、河川敷はアレチウリやオオブタクサに覆われ、ミシシippアカミミガメが甲羅干しをしています。池ではアメリカザリガニが繁殖して、水草が姿を消してしまいました。日本の風景は、開発によるだけでなく、外来生物によっても、いつの間にか変化しているのです。

もちろん、すべての外来生物が大きな問題を引き起こしているわけではなく、園芸・緑化・食用など様々に利用され、役立っているものも多くあります。しかし、一部の外来生物は在来生物を絶滅に追い込むなど、大変深刻な影響を及ぼしており、その多くは国によって特定外来生物や生態系被害防止外来種に指定されています。

一方で、どれが外来生物なのか、どのような問題が起きているのか、十分に知られていないと思います。そのために、増え過ぎた、大きくなり過ぎたことなどにより、飼いきれなくなったペットを森や川や湖に生きたまま捨ててしまうことがあるかもしれません。しかし、こうした行為が積み重なって、やがて地域の生態系に大きな影響を及ぼす可能性があるのです。そして一度増えた外来生物の防除は、多くの人たちが協力して長期にわたって行わなければならない膨大な作業となってしまうのです。

本書は、「千葉県生物多様性ハンドブック」の第2弾として、実は身近でかつ大変深刻な問題である外来生物を取り上げ、その考え方、対処の仕方、参考資料情報の入手先などを記載しました。家庭、学校、会社、公共施設など、様々な現場や場面で参考にいただければ幸いです。

第一章 外来生物とは？

1-1 外来生物ってなに？	2
1-2 外来生物の何が問題なの？	4
1-3 どうやって日本にくるの？	6
1-4 外来生物が病気を運ぶ	8
1-5 国内からでも外来？	9
1-6 え！これも外来生物？	10
1-7 早めの発見、早めの対応	12
1-8 ペットを外来生物にしないために	14
1-9 ちょっと待って！植樹や放流	16

第二章 いま起きていること

2-1 アメリカザリガニ	18
2-2 カミツキガメ	20
2-3 アカゲザルとニホンザル	22
2-4 ハリエンジュとクス	24
2-5 ナルトサワギク	26

第三章 まとめ

3-1 わたしたちにできること	28
-----------------------	----

第四章 資料編

4-1 主な外来生物	30
4-2 もっと詳しく知るために	32